
200文字小説 文学少年

抹茶小豆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

200文字小説 文学少年

【Nコード】

N0901L

【作者名】

抹茶小豆

【あらすじ】

きつと誰もが思うこと。

優しい木漏れ日の中で、少年は手にある文庫本を閉じた。

タイトルは「耳なし芳一」

平家の怨霊に魅入られた芳一を助けようと、偉いお坊さんが体中にお経を書き込むが、耳にだけ書くのを忘れてしまったために怨霊に耳をちぎり取られてしまったという話。

少年は、端正な顔をしかめた。

「まあ、何を読んでいらっしゃるのかしら？」

遠巻きに女生徒が噂する。

「耳が問題なんじゃない！芳一はアノ部分にお経を書いてもらったんだろうか…」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0901/>

200文字小説 文学少年

2010年10月10日17時01分発行